

I 平成28年1~3月期平均結果の概要

東京都の完全失業率 3.5%

前年同期に比べ0.3ポイント低下した。

主な動き (図1、図2、表1、統計表第1表、統計表第2表)

労働力人口 (15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者を合わせたもの)

- ・労働力人口は761万4千人で、前年同期に比べ5万4千人(0.7%)増加した。
- ・男女別にみると、男性は8千人(0.2%)、女性は4万7千人(1.5%)、いずれも増加した。

【就業者数】

- ・就業者数は734万9千人で、前年同期に比べ7万3千人(1.0%)増加した。
- ・男女別にみると、男性は3万9千人(0.9%)、女性は3万4千人(1.1%)、いずれも増加した。

【完全失業者数】

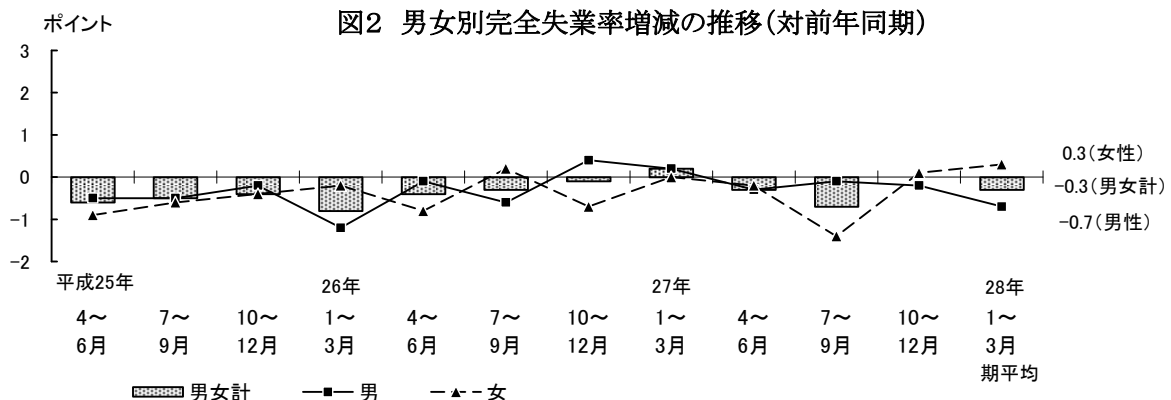
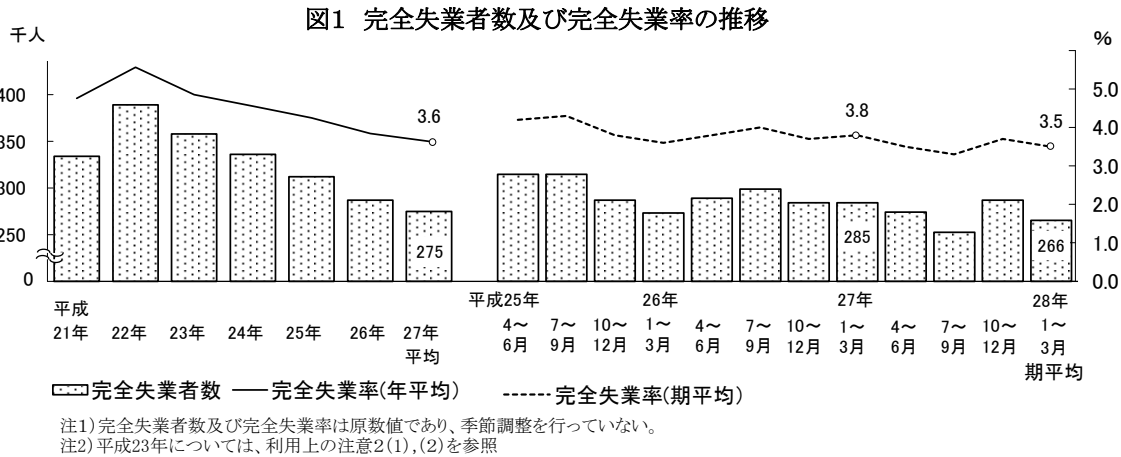
- ・完全失業者数は26万6千人で、前年同期に比べ1万9千人(6.7%)減少した。
- ・男女別にみると、男性は3万1千人(18.2%)減少し、女性は1万2千人(10.4%)増加した。

非労働力人口 (15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者以外の者)

- ・非労働力人口は435万7千人で、前年同期に比べ5万1千人(1.2%)増加した。
- ・男女別にみると、男性は4万人(2.7%)、女性は1万1千人(0.4%)、いずれも増加した。

完全失業率 (労働力人口に占める完全失業者の割合)

- ・完全失業率は3.5%で、前年同期に比べ0.3ポイント低下した。
- ・男女別にみると、男性は3.2%、女性は3.9%で、男性は0.7ポイント低下し、女性は0.3ポイント上昇した。



1 労働力人口

労働力人口は761万4千人となり、前年同期に比べ5万4千人(0.7%)増加した。

男女別にみると、男性は435万2千人、女性は326万3千人となり、男性は8千人(0.2%)、女性は4万7千人(1.5%)、いずれも増加した。

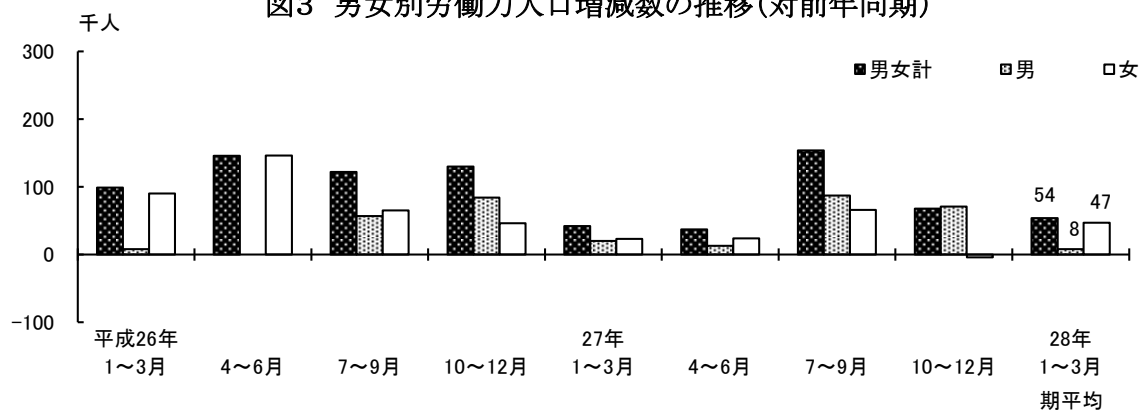
一方、全国の労働力人口は6576万人となり、前年同期に比べ31万人(0.5%)増加した。

(表1、図3、統計表第1表、統計表第2表)

表1 就業状態別、男女別15歳以上人口 [単位 東京都(千人)、全国(万人)、%、ポイント]

就業状態等	男女計	男	女	対前年同期						
				増減数			増減率			
				男女計	男	女	男女計	男	女	
東京都 (千人)	15歳以上人口	11,974	5,876	6,098	101	46	54	0.9	0.8	0.9
	労働力人口	7,614	4,352	3,263	54	8	47	0.7	0.2	1.5
	就業者数	7,349	4,213	3,136	73	39	34	1.0	0.9	1.1
	完全失業者数	266	139	127	-19	-31	12	-6.7	-18.2	10.4
	非労働力人口	4,357	1,523	2,834	51	40	11	1.2	2.7	0.4
	完全失業率	3.5	3.2	3.9	-0.3	-0.7	0.3	—	—	—
全国 (万人)	15歳以上人口	11,074	5,344	5,730	-1	0	-2	-0.0	0.0	-0.0
	労働力人口	6,576	3,735	2,841	31	-7	38	0.5	-0.2	1.4
	就業者数	6,363	3,603	2,760	46	1	45	0.7	0.0	1.7
	完全失業者数	213	132	81	-15	-8	-7	-6.6	-5.7	-8.0
	非労働力人口	4,494	1,607	2,887	-30	9	-39	-0.7	0.6	-1.3
	完全失業率	3.2	3.5	2.9	-0.3	-0.2	-0.2	—	—	—

図3 男女別労働力人口増減数の推移(対前年同期)



2 就業者

(1) 就業者数の推移

就業者数は734万9千人で前年同期に比べ7万3千人(1.0%)増加した。

男女別にみると、男性は421万3千人、女性は313万6千人となり、男性は3万9千人(0.9%)、女性は3万4千人(1.1%)、いずれも増加した。

一方、全国の就業者数は6363万人となり、前年同期に比べ46万人(0.7%)増加した。

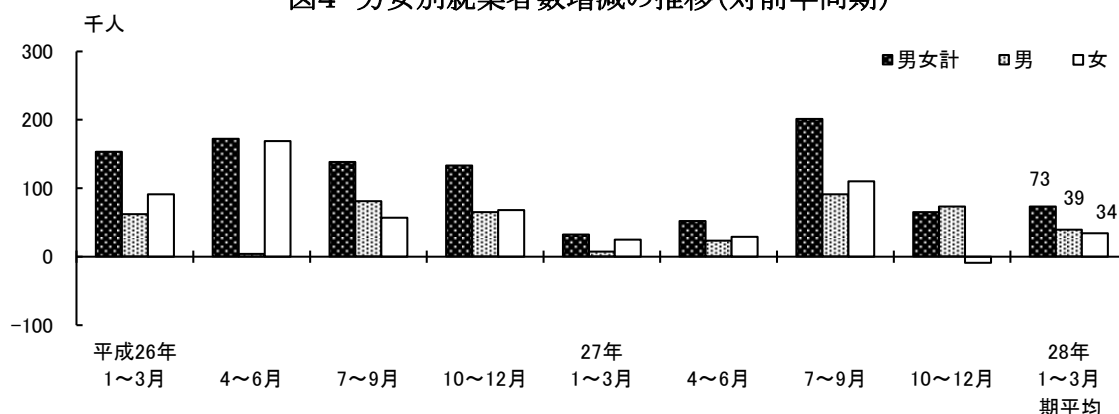
(表1、表2、図4、統計表第1表、統計表第2表)

表2 男女別就業者数の推移

(単位 千人)

期平均	就業者数			対前年同期増減数		
	男女計	男	女	男女計	男	女
平成26年 1～3月	7,244	4,167	3,077	153	62	91
4～6月	7,424	4,216	3,208	172	4	169
7～9月	7,240	4,172	3,068	138	81	57
10～12月	7,341	4,177	3,164	133	65	68
平成27年 1～3月	7,276	4,174	3,102	32	7	25
4～6月	7,476	4,239	3,237	52	23	29
7～9月	7,441	4,263	3,178	201	91	110
10～12月	7,406	4,250	3,155	65	73	-9
平成28年 1～3月	7,349	4,213	3,136	73	39	34

図4 男女別就業者数増減の推移(対前年同期)



(2) 雇用者数の推移

雇用者数は665万7千人となり、前年同期に比べ9万3千人(1.4%)増加した。

男女別にみると、男性は378万6千人、女性は287万1千人となり、男性は4万9千人(1.3%)、女性は4万4千人(1.6%)、いずれも増加した。

(表3、統計表第1表、統計表第3表)

表3 男女別雇用者数の推移

(単位 千人)

期平均	雇用者数			対前年同期増減数		
	男女計	男	女	男女計	男	女
平成26年 1～3月	6,551	3,751	2,801	209	120	90
4～6月	6,630	3,749	2,881	161	14	147
7～9月	6,568	3,745	2,823	160	89	71
10～12月	6,628	3,736	2,892	121	60	60
平成27年 1～3月	6,564	3,737	2,827	13	-14	26
4～6月	6,743	3,796	2,947	113	47	66
7～9月	6,794	3,837	2,957	226	92	134
10～12月	6,705	3,798	2,907	77	62	15
平成28年 1～3月	6,657	3,786	2,871	93	49	44

(3) 企業の従業者規模別非農林業雇用者数

非農林業雇用者数全体では664万9千人となり、前年同期に比べ9万6千人(1.5%)増加した。

企業の従業者規模別で見ると、「1～29人」規模は前年同期に比べ2万7千人(1.6%)減少し、「30～499人」規模は4万2千人(2.1%)増加し、「500人以上」規模は8万8千人(3.8%)増加した。

(表4、統計表第1表、統計表第6表)

規模	非農林業雇用者数			対前年同期					
	男女計	男	女	増減数			増減率		
				男女計	男	女	男女計	男	女
総数	6,649	3,780	2,869	96	51	45	1.5	1.4	1.6
1～29人	1,692	949	744	-27	-24	-2	-1.6	-2.5	-0.3
30～499人	2,043	1,111	932	42	22	20	2.1	2.0	2.2
500人以上	2,398	1,423	975	88	36	53	3.8	2.6	5.7

注) 総数には官公、従業者規模不詳を含んでいるため、内訳の合計とは一致しない。

3 完全失業者

完全失業者数は26万6千人で、前年同期に比べ1万9千人(6.7%)減少した。

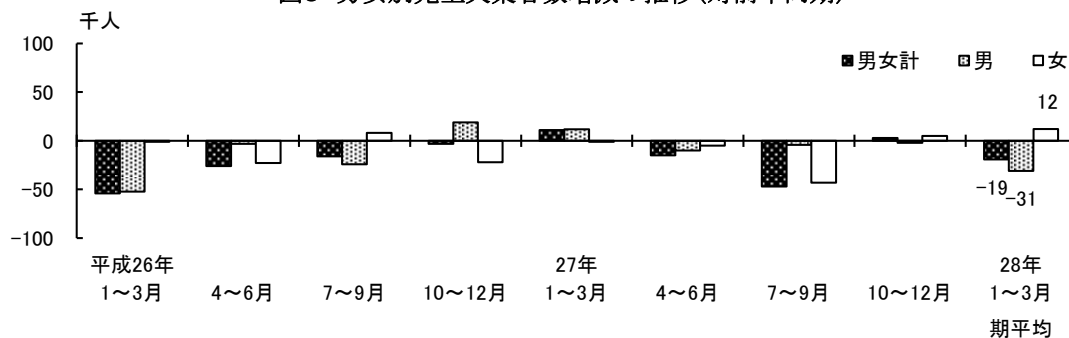
男女別にみると、男性は13万9千人、女性は12万7千人となり、男性は3万1千人(18.2%)減少し、女性は1万2千人(10.4%)増加した。

一方、全国の完全失業者数は213万人となり、前年同期に比べ15万人(6.6%)減少した。

(図1、表1、表5、図5、統計表第1表、統計表第2表)

期平均	完全失業者数			対前年同期増減数		
	男女計	男	女	男女計	男	女
平成26年 1～3月	274	158	116	-54	-52	-1
4～6月	290	175	115	-26	-3	-23
7～9月	300	166	134	-16	-24	8
10～12月	285	181	104	-3	19	-22
平成27年 1～3月	285	170	115	11	12	-1
4～6月	275	165	110	-15	-10	-5
7～9月	253	162	91	-47	-4	-43
10～12月	288	179	109	3	-2	5
平成28年 1～3月	266	139	127	-19	-31	12

図5 男女別完全失業者数増減の推移(対前年同期)



4 非労働力人口

非労働力人口は435万7千人となり、前年同期に比べ5万1千人（1.2%）増加した。

男女別にみると、男性は152万3千人、女性は283万4千人となり、男性は4万人（2.7%）、女性は1万1千人（0.4%）、いずれも増加した。

一方、全国の非労働力人口は4494万人となり、前年同期に比べ30万人（0.7%）減少した。

（表1、表6、統計表第1表、統計表第2表）

表6 男女別非労働力人口の推移

（単位 千人）

期平均	非労働力人口			対前年同期増減数		
	男女計	男	女	男女計	男	女
平成26年 1～3月	4,280	1,470	2,810	-36	19	-55
4～6月	4,125	1,424	2,701	-77	30	-107
7～9月	4,308	1,478	2,830	-56	-32	-24
10～12月	4,229	1,464	2,764	-64	-53	-13
平成27年 1～3月	4,306	1,483	2,823	26	13	13
4～6月	4,170	1,444	2,725	45	20	24
7～9月	4,246	1,435	2,810	-62	-43	-20
10～12月	4,258	1,434	2,824	29	-30	60
平成28年 1～3月	4,357	1,523	2,834	51	40	11

5 完全失業率

（1）年齢階級別、男女別完全失業率

完全失業率は3.5%となり、前年同期に比べ0.3ポイント低下した。

男女別にみると、男性は3.2%、女性は3.9%となり、男性は0.7ポイント低下し、女性は0.3ポイント上昇した。

年齢階級別、男女別にみると、最も高いのは、男女ともに「15～24歳」で、男性は5.3%、女性は8.3%であった。最も低いのは、男女ともに「65歳以上」で、男性は2.0%、女性は1.7%であった。

（図1、表7、統計表第1表）

表7 年齢階級別、男女別完全失業率

（単位 %、ポイント）

年齢	完全失業率			対前年同期増減数		
	男女計	男	女	男女計	男	女
総数	3.5	3.2	3.9	-0.3	-0.7	0.3
15～24歳	6.8	5.3	8.3	1.8	0.6	2.9
25～34歳	3.9	4.2	3.5	-0.9	-0.9	-1.1
35～44歳	2.7	2.3	3.3	-0.7	-1.2	0.1
45～54歳	3.6	2.9	4.6	0.7	0.0	1.6
55～64歳	3.6	3.9	3.3	-0.3	-0.3	-0.1
65歳以上	1.9	2.0	1.7	-1.4	-2.0	-0.4

(2) 完全失業率の全国、南関東との比較

東京都の完全失業率は3.5%となり、全国の完全失業率3.2%より0.3ポイント高く、南関東（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）の完全失業率3.3%より0.2ポイント高かった。

前年同期と比較すると、東京都及び全国は0.3ポイント、南関東は0.1ポイント、いずれも低下した。

(図6、統計表参考表)

